京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

朝鮮と宣教師（四）

雜報

尚ほ一の特筆すべき事實は京城基督敎青年會が韓國政府より年々一万圓の賜金を受けつゝありし一事にして寺内子爵は同會書記に對し總督府は該賜金を繼續するを得されども過去に於ける同會の成績に鑑み予自ら何等かこを繼續するの方法を講ずべしと語れりと云ふ而して總督府鐵道局の如きも京城に於ける日本人側基督敎青年會に諸般の便宜を與へ且同幹事に託するに鐵道從業員の慰安訓育の事を以てせり前項所說の如く精細に當局官憲の態度を叙述するは朝鮮に於ける宣敎師の事業及び彼等の當局政廳に對する態度の眞相を了解する爲め必要なり何となれば從來無頼なる日本人が横暴を逞ふして之を縱せし宣敎師の心膽を寒からしめたるもの甚だ多く其の結果一部の宣敎師等をして當時斯の如き非行を防止するの手段に出でざりし當局官憲に對し疑惑の念を挾ましめたればなり此の種の日本人が朝鮮人を虐げたる不法行爲と其の宣敎師等に加へたる侮辱とは之を辨解し若しくは隱蔽せんとするも無益なればなり予が宿泊せし或る宣敎師の邸宅の一室の如きは嘗て該宣敎師の不在中拔刀の日本兵士無辜の一朝鮮人を追究して之に一擊を加へたる處なり之れ今より二年前日本政府の保護未だ洽ねからず半島を通じて騷擾尚は蔓へざる時の事に屬す然るに當時斯る兇行を目擊せし該宣敎師及朝鮮人に醫療を與へたる附近の一宣敎師醫師の如き能く事態の眞相を了解し日本人全体に對しては之が爲め何等惡感を懷かざるのみならず寧ろ公正にして且つ懇親なる意向を示し當局官憲に對しても同其の目的の公正なるを信じ進んで其の施設を稱揚するに至れり在朝鮮宣敎師等は予の知れる限り皆寛弘なる精神を有し當時の如き過渡時代に於ては其の免るべからざるを諒とし不法日本人の行爲を以て當局官憲を責むるが如き事を爲さず新總督府に對しても亦た頗る好意を表せり予が朝鮮併合に關し彼等全体を代表すると信ずる意見としては或は朝鮮併合今や動かすべからざるの事實となり從來困難の原因たりし諸般の事項も爲に圓滑に且つ順當に落着を見るに至りたりと說き或は「朝鮮人民は其の衣食住共も既に改善せられたるを見」ると云へり予は宣敎師等に對し試みに其の從前の如き政治狀態に復歸するやを好むや否やを問へるに彼等は「否今日の事態は多くの點に於て遙に從來に優れり今日に至りては確實に施設の公正を期せむとする鞏固なる政府の成立に對し何人も其の便益に感ぜざるなし」と答へたり

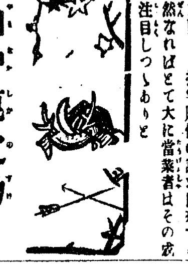
●北滿惡疫の影響

昨年十月以來露領西比利亞地方に黒死病患者發生したる以來諸方に蔓延し目下は哈爾賓を中心として其附近に於ては頗る猖獗を極め日々支那人および露人在留朝鮮人勞働者にして之に罹るもの多數にして其蔓延の程度は今尚ほ計るべからざるものあるを以て目下露領官憲に於ては極力豫防撲滅策を施し一方交通遮斷滊車乘客及び貨物の檢疫を勵行しつゝあるが此等惡疫流行の結果諸般の事業に影響を及ぼし爲めに該地方一般の景況に尠からぬ打擊を與へつゝありと云ふ

●海運界の三問題

目下海運界未決の三大問題として當業者の注目を怠らざるは（一）竹の浦丸沈沒に對する保險金問題に就て船主と保險會社との訴訟事件（二）鐵嶺丸沈沒に對する郵便物損害賠償問題（三）三浦丸沈沒に對する船長の權利問題等なるが右の內第一の保險金問題はその關係する所單に船主と保險業者の參考たるに過ぎざるも鐵嶺丸及三浦丸事件の解決如何は關係船主に對する大影響なるのみならず我が海運界の重大問題として見るべしといふ即ち若し鐵嶺丸沈沒に對する郵便物の損害賠償問題が愈よ遞信省の主張通り解決を告ぐるあらば今後幾多の方面より損害賠償の請求出來すべく又三浦丸が那覇地方裁判所の判決通り昨年十月十一日那覇港口に碇泊中暴風の爲め沈沒し乘客五十三名の內三十一名死亡し生死不明三名又船員十六名の內四名死亡者を出したるは船長が職務を怠りたるに基因するものとして船員法七十三條を適用し船長中村某を重錮禁二ヶ年に處したる事件が目下審理中なる長崎控訴院にれいて一審判決通り確定さるゝあらばこれ亦各種の方面より損害賠償の請求出來するは必然なればとて大に當業者はその成行を注目しつゝありと

山中鹿之助



六十回　西尾麟慶演

有命の父母に孝子なく、有命の君に忠臣無しとやら、天下泰平一家和睦致して居りますれば、忠臣も出なければ孝子も出ません、必竟忠臣孝子の現るゝは、國と家とが平穩でなく低氣壓があつたからで御座ひます、尼子義久は父の跡を繼で、十一州の主人になりましたが、餘り賢明な方でない、皆山中鹿之助の誠忠によつて父の跡を相續致したもの、鹿之助は諸士を撫け、民を慈みます故大層評判が宜ひ、時に山中鹿之助の思ふに吾幼年より受けし父母の恩海よりも深く山よりも高し、天下に英名を爲さずんば再び父母には見へずと堅く盟て國を出しも最早數ふれば一と昔になりぬ、今尼子に從ひ衰へたる家を興し、再び雲州富田の城主が君を爲し參らすれば、吾に於て望み足りたり、此の事信州に在します父母に見へて告げんと思へども、戰國の習ひ吾今此の城を出たりと聞かば、藝州より攻め來らん事必定なり、如何して宜かと九重姬に物語るを聞きました大谷古猪之助、實に鹿之助の孝心に感じました、當節は大分人情が浮薄になりましたが、昔時は親子の間か云ふに云はれぬ宜い味が御座いました、其の昔時は親は子を勘當する事が往々御座ひましたが、子の親を勘當したのは武田信玄より他にない、處が當時は子が親を勘當致します、餘り親が放蕩だと親權を停止する事が出來るさうで、當分親父の權利停止となる子『阿父さん、生意氣なことを云ひなさんナ、お前は當分親ではないのだから、親風吹せると今日限り追出すから左う思へ　親『誠に相濟みません、何うぞ御勘辨を　子『何歲になると思ふ、老年をして子の臑を嚙る奴があるか、氣の利た奴は五十、六十になれば大抵死んで居らア、馬鹿奴郎、働きのねヱ奴郎だ、近頃出來た川柳にな、子の臑をかぢる親父の齒の白さと云ふ事がある　親『何んだか其の川柳は違ふ樣な心持がする　子『何に違ふものか、廿世紀の川柳が汝達に判るものか、お前杯は頭が古いから叶ねヱ、鐵砲に例へればゲベル銃でなければ村田銃だ、以來氣を付ろ　親『へヱ……是か當節の親子、昔時は親の爲に我が子を生埋にやうとした者がある、寒中に筍を堀に出懸けた者がある、山中鹿之助は兩親に身の出世を告げ、兼ての言葉に背かぬ處を見せて安心を爲せたい天晴孝子で御座ひます、當今の書生先生も國を出る時には大層な意氣、馴馬の車に乘らざれば再び此の橋渡らずとの大氣焔、東京に出て參りまして、專門の學科を修めると思ひきや、女義太夫が手始めで、追々墮落の淵に入り、遂に放蕩等を卒業する是から先は監獄署に往かずんば、養育院行き、死んでしまへば國葬になる……此の國葬は有難ひ國葬ではない、地方稅の國葬様は有難くない、鹿之助の孝心を聞て大谷古猪之助が『御兩親のまします處が判りますれば私が參つて、閣下の御志を述べ、又九重姬の御貞節の趣を御物語致し、其序に丹波大江山に參つて私老母の墓印も建置き、香華をも供へ度存じます、何卒私を閣下の名代として御遣はし下されたし」鹿之助之を聞き大層喜びました、汝が申す處一理あり、我が父母は信州碓氷峠の邊りに閑居したまふと風の便りに承はった、何とかして夫へ飛越し拙者の只今の身分をも告げ、且は九重姬の爲に死したる其方の老母の墳墓を築きて、供養致して立歸れ」と旅の入用も與へ且つ九重姬より相木森之助並に更科の元へ細々と認めたる文を屆けくれる樣と古猪之助に渡しました、ソコデ大谷は出立をする、此の留守に騷動の出來たのは、此の山中鹿之助幸盛は、三日月を大層信仰致しました、每月三日には供物を捧げ、身の安穩を願ふ、今日から考へると恐な事で御座ひますが、只今でも三日月に對つて頻りに身の安泰を願ふ人がある、太陽に對つて毎朝御辭儀をする人がある、日蝕杯は昔時は虫が喰のだと思ひましたと見へ、食扁に虫と云ふ字が當てゝある、餘り齒▲壯健な虫に違ひない位アノ火の凝結を喰つて火傷をしないで御座ひます。



▲京電報（十八日着）

●梨本宮殿下 伊勢神宮御參拜中の梨本宮殿下には十七日[illegible]に成らせられたり

●遣英司令官決定 英國皇帝ジョージ第五世陛下戴冠式に參列の爲め派遣を命ぜられたる鞍馬利根艦の司令官は島村海軍中將に決定せり

●遣英艦長等任命 遣英艦鞍馬利根艦長以下左の如く任命されたり

免本職鞍馬艦長 海軍大佐 石井義太郎
新補鞍馬艦長 海軍工廠檢査官 山口九十郎
[illegible] 海軍大佐 山田猶之助
[illegible] 海軍大佐 大澤喜七郎
[illegible] 高木七太郎
[illegible] 岡田啓介
[illegible] 榊原忠三郎
[illegible] 片岡榮太郎
[illegible] 海軍大佐 西山保吉

●大久保大將出發 滿洲駐劄中なりし大久保軍司令官は十七日[illegible]任地へ赴任の途に就けり

●大博評議員任免 大島久滿次氏は日本大博覽會評議員を免ぜられ臺灣總督府民政長官内田嘉吉及横濱市長荒川義太郎の兩氏新に同會評議員を仰付けられたり

▲朝報

●總督府へ御眞影 朝鮮總督府に奉掲の爲め寺内總督より御眞影下附の儀を奏請せしに今回御許可相成り陶版大型の御眞影一枚を同總督へ下賜せらるゝ由なり

●王家官吏の配置 二月一日より實施すべき李王職官制に伴ふ[illegible]

●寺内總督の消息 寺内總督の一行は十八日午前八時三十分[illegible]着同日午後九時同地發東上の途に就く[illegible]

●總督の寄附 寺内總督は[illegible]

●國境防疫方針 昨十七日夜明石警務總長は平安北道警務部長に對し左の訓電を發したり
清國より朝鮮に渡來する支那人は總べて健康診斷を行ひ不絶し健康者も三日間一定の場所に收容して確實なる健康者と認むるにあらざれば入國せしめざる方針なれば其筋に申出で道台へ通告せしむべく滿洲より入國せんとする其他の外人及朝鮮人内地人は三日間隔離所に收容の上自由を許すべく隔離所は新義州に於て家屋を借上ぐる準備を爲し其費用其他の條件及道台へ通告の結果等即報すべし

●學校長會議（第二日） 既報の如く十八日より三日間内務部に於て開會する各道實業學校長事務打合會は十八日午前十時より其の第一日を開會したり出席者は關屋學務局長隈本學務課長、花井平壤、三浦大邱、高山全州、佐藤晉州の各學校長事務打合會に出席の各實業學校長學監出席倘原農林學校教授臨席の上關屋學務局長の開會の辭あり次で總督の指示事項要領左の如く示し其の趣旨を說き次で政務總監大要左の如き訓示を爲せり

▲總督指示事項の要領
第一、生徒教養の方針
第二、地方實業の開發に關する事
第三、學校設備其他設備に關する事

▲政務總監の訓示大要 今回諸君の多數が他の公務を以て出京せらるゝ機とし此の會を開くに至りたるは甚だ滿足する處なり實業教育の開發的教育に於て最も必要なるは是なし而して其施設の効果を擧ぐると否とは一に諸君の指導薫陶如何に依らざるべからず從つて此の機を利用して十分熟議せられ又諸君の意見は腹藏なく陳述せられん事を望む

●印紙貼用方 去る十四日總督府令第一號を以て郵便切手類及收入印紙賣捌規則を公布し同日より施行せられたるが舊韓國政府の發行に係りたる收入印紙は今後一ケ年を限り元賣捌人に於て賣渡すことを得又手數料其他規定に依り收入印紙を以て納入し得る場合に貼用すべき收入印紙は帝國政府發行の收入印紙を貼用すべきも當分の間は舊韓國政府發行の收入印紙を貼用するも差支なく又帝國政府發行の收入印紙と混同貼用するも妨げずと

●施療成績良好 水原慈惠醫院長村井靜夫氏は去る十三日開城に出張健康診斷所に於て患者の施療に着手したり先之開城警察署に於ては邑内各面長里長其他重なる者及各受持巡査補をして受診者の勸誘に努めしむると共に一面邑内各要所十ケ所に掲示し一般の周知を計りたる結果第一日に六名第二日に三十九名第三日に四十一名の受診者を見たり而して診察開始の際は該患者等は診察は無料なるべきも藥價は必ず徴收せらるゝものと信じ居たるものゝ如くなりしが診斷の結果藥品迄無料なるのみならず其診察の懇切叮嚀なりしに滿足し進んで診斷を乞ふ者多きを加へ向後益々增加の傾向あり加之一般人民は其好意を感謝し總督政治の餘澤なりと喜び居れり村井院長は十五日午後八時發にて一應歸任再び今十八日より診察に着手し其日割は十八十九廿の三日間の豫定なりと

●御製新年歌 京城電報（十八日） 新年御歌會は今十八日宮中に於て行はせらる御製を漏れ承はるに左の如し

御製
てるつきの光はいまた寒けれと
春にかはらぬ梅ケ香そする

皇后陛下
みかきもる人をうれもふ風さゆる
霜夜の月に梅の花見て

東宮殿下
かけさゆる月にきほひて咲梅の
花の心そをゝしかりける

東宮妃殿下
香をとめてとふ人もなき梅園を
夜毎に照す月のかけかな

▲勅選歌 新年御歌會の選歌左の如く決定したり

宮内省典侍 藤原愛子
大空は下くもりして咲梅の花のみしろし有明の月

愛知縣士族 大島爲足
霜白きよこその庭に月照て梅ケ香寒し風はなけれど

京都府平民 大屋ヒサ子
冬こもる人の心を動かして霜夜の月に匂ふ梅かな

京都府平民 奥村義道
千鳥なく野川の堤霜みへて寒き月夜に梅かほるなり

朝鮮全羅南道 許燮
雪深き百濟の野邊に咲梅もへたてす照す冬の夜の月

●浦港日露協會 日露協約成立後兩國の政治的方面に在りては有望なる關係を增進せられつゝあるも商業的關係に付ては未だしきものあるを慨し浦鹽なる露國有志は之を遺憾とし日本人側に交渉し露曆一月早々同地に日露協會を創立する事となれり

●會社令の適用を受くべき諸會社 差當り總督府發布の會社令に對し設立認可を受くべき運命を有する計畫中の重なる諸會社は安藤謙介計畫北韓漁業（資本金二百萬圓）淺田正文關係朝鮮煙草（百五十萬圓）中橋德五郎關係韓國綿花（二百萬圓）濱本義顯發企朝鮮綿花（五百萬圓）牟田口元學發企朝鮮甜菜糖（六百萬圓）加藤增雄發企勸業會社（二千萬圓）等なり

●各銀行の金融 京城日本人商業會議所調査に係る客月中に於ける京城各銀行の金融狀況を記せば左の如し（單位圓）

銀行	金銀出納高	預金	貸金	爲替受入	爲替拂出
韓國銀行	三七、九七、三五一	二、二三四、七六八	一、五七六、二〇五	三、三三四、六二三	一、一〇四、九五九
百三十銀行	三、九二二、二〇五	七一三、九一四	一、一二五、二四七	四〇七、九八七	一二四、九九六
第一銀行	七、四八五、三五六	二、八三五、六五八	一、四四三、七三二	一、〇八四、五一七	七四七、三六六
十八銀行	七、三一四、八八〇	四四九、八二二	八一〇、五五四	五〇〇、九二一	一九四、八四九
天一銀行	二、〇〇八、二一三	四六二、四五九	八五九、七二九	三一、四六九	三三、六一四
韓一銀行	一、三五九、八五二	六八〇、二八八	五七三、七七七	二二、二七二	
漢城銀行	一、六七三、四九三	五九五、六三一	六四〇、五七六	一、四二二	六、五九七
農工銀行	二、三一二、四〇四	五五四、八〇一	七〇五、四三七	一〇四、五三九	一五、二四六

●民籍取扱件數 京城居留民團役所に於て四十三年一月より十二月に至る一年間の民籍取扱件數は左の如し但し龍山は之れを除く

居留屆出 件數四、三五七 戸數一、六七五 人口八、六七七
轉居屆出 件數二、三三六 戸數一、六三五 人口四、六八〇
退去屆出 件數七五六 戸數二九三 人口一、四九五
出生屆 男 四七四 女 四六二
死亡屆 男 三四七 女 三三五

因みに十二月末日の現在戸口數を擧ぐれば左の如し但し龍山を除く
戸數九、一三〇 人口三六、一六一
内譯男二〇、〇五八 女一六、〇一三

●仁川民會開會 仁川民會は來る廿一日午後三時より同樓上に於て第廿四回民會を開會し會計檢查報告外一件を決議する由

●仁川の種苗下附 今回其筋に於ては殖林奬勵の爲め各種樹木の種苗を一般人民に無償にて下附する由希望者は廿五日迄に仁川民團役所へ申込べし

選擧界の側面觀

▲新團体起らん 龍山側は既報の如く五名の候補者を擧げ成敗を顧みずして京城側と戰はんとせしが一部の有力者此現象を憂へ斡旋する處あり其結果豫て辭退の色ありし國井泉氏は全く引退して大村百藏氏を起たしむる事となり而して京城側の門外派と提携して兩地より十名を選み今明日中に新團体を組織せん筈なるが此計劃は大に各方面の同情を惹き居れば必らず好結果を奏すべしと

▲本町二丁目會 中部西部の洞ケ峠と目され其向背は兩部の大勢に甚大なる影響あるべき本町二丁目は十七日午後八時より某旗亭に有志者の新年宴會を開き同時に議員候補者の詮衡をなしたるが滿場一致を以て前田熊市、松浦源治の兩氏を推薦すべく決定せる由

▲金物商組合 京城金物商組合は十七日午後七時より南山町井門樓に例年の通り新年宴會を開き議員候補者問題に就き協議する處ありしが組合員は全部擧つて釘本藤次郎氏を推すべく決し和氣藹々の裡散會せり

▲端書飛び名刺飛ぶ 各部とも既に候補を決定し選擧事務所を設けて運動中なるが西部は昨日來推薦狀及候補者の名刺を各方面に散布し始め中部も亦數千枚の端書を全有權者に飛ばして突擊を試むべく準備中に在り

▲境界問題不調 境界劃定問題に關し西部より中部へ交渉を申込めるは既報の如くなるが中部は十七日深更迄其事務所に會合し協議を凝らし居りぬ而して始め委員を設けて協定せん都合なりしが豈計らん西部は該交渉開始以前なるにも拘はらず競爭地點の有權者に對し推薦狀を撒布せる事實を發見せし爲め孰れも其不法を憤ほり西部に協定の誠意なきものと認め斷然該交渉を拒絶する事に決定せり

▲西部の地盤動く 西部は本町二丁目以東門外一帶を勢力圈内として大に活動し居りしが別項新團体成立の情報に接し俄かに警戒を始めたり

▲中村再造氏曰く 私は三度の食事を廢しても選擧競爭なら構ひませんが斯んな面白い事は外には無い二年に一度でなく毎年二度もあれば能いがハアハア

▲皆川氏と候補 前民會議員にして辯護士を業とする皆川廣濟氏は今回の選擧に單獨運動を爲す由なるが同氏が議員となるべき目的とも云ふべきものを聞くに第一百萬圓の民團債を起して市區改正其他の事業を遂行する事第二現行不公平の嫌ある税制を改正して民團税負擔の公平を計る事なりと云ふ

民團議員豫選投票（十八日正午迄着票通計）

得票	氏名
二三三八票	前田熊市
二二三五票	和田常市
二一四一票	高橋章之助
二一〇三票	三好和三郎
二〇一八票	小林藤右衛門
一九七四票	山口太兵衛
一八五二票	大橋清三郎
一六三三票	松浦源治
一四三五票	增田三穗
一三三七票	岩田仙宗
一一三五票	林田金次郎
一一二四票	中村再造
一一一八票	城六太
一〇八一票	伊藤友松
九九七票	田村義次郎
九八三票	田中始一郎
九四八票	松永達二郎
九三二票	池田長兵衛
八九八票	曾我勉
八七三票	秋吉富太郎
八六一票	釘本藤次郎
七五一票	森勝次
七三五票	關繁太郎
七〇三票	梶原末太郎
六九八票	皆川廣濟
六九六票	中島司馬之助
六四七票	石井新
六三七票	古城梅溪
五九一票	大村保太
五二三票	大坪文吉
四七五票	深水清
四六二票	海津三雄
四五八票	進辰馬
四四六票	大村百藏
四三一票	池田長次郎
四二六票	佐々正之
四二一票	原勝一
四一七票	佐野彦藏
四一四票	兼古禮藏

十佐藤熊太郎、十富田初太郎、八小川龜太郎、八野々村勇三郎、八木下嘉介、六丹羽宗太、六安東一郎、二松岡六郎、二岡田興二郎、二南清太郎、二梅田增雄、二成田忠良、二庵原文一、二山口吉五郎

注意 前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず尚本日よりは四百點以下の得點は新候補者以外は不掲載

●城控訴院長出張 城京城控訴院長は十八日午前南大門發事務視察の爲め公州へ出張したり

●兒玉局長の出發 兒玉會計局長は所報の如く十八日午前南大門發夫人同伴東上の途に就きたり

●池田局長の東上 池田通信局長官は今期議會に參列の爲め今十八日午前九時南大門發列車にて東上せり

●岡正矣氏 岡氏は今回北海道鐵道管理局管内運輸事務巡閲員を被命

●松永陸軍中將 松永陸軍中將は十八日午前九時着列車にて仁川を訪ひ久水府尹の案内にて市中を視察し午後の列車にて入京せり

●村田分隊長歸京 寺内總督に隨從して下ノ關に出張したる村田第二分隊長は十七日夜歸京せり

公人私人

▲水谷千万吉（平壤鑛業所次長）東上中の所十七日歸朝
▲成田清澄（農錄江界支配人）十七日入京浦尾へ
▲宮家正藏（夢政局技師）同上原金へ
▲小川平吉（代議士）入京中の所十七日釜山へ

▲仁川港（船舶出入）▼

▲福州丸 十九日大阪より入港
▲音羽丸 同 横濱より入港
▲秀吉丸 同 大阪より入港
▲山東丸 同 金州島より入港
▲瓊浦丸 同 大阪より入港
▲福州丸 同 横濱へ向出港
▲音羽丸 同 横濱へ向出港
▲木浦丸 同 大阪へ向出港
▲瓊浦丸 同 大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十七日の分
乘車客 七三七 下車客 五八五
乘車賃金 一四五三、九九
▲南大門驛荷扱高 十七日の分
發送 八〇噸 到着 三二三
貨物賃金 六〇五、七一
▲龍山驛の乘降客 十七日の分
乘車客 一四二 下車客 一三三
乘車賃金 二三三、八〇
▲龍山驛の荷扱高 十七日の分
發送 九八噸 到着 三七
貨物賃金 一二五、九三

▲京城手形交換高▼
一月十八日 金高 九八、七七八、八八 枚數 三三九

▲治外法權▼ 滿州のペスト一日一日と勢ひ猖獗を極め、尋常一樣の手段では到底防げぬ事となつた▲據付り我奉天居留民及日本人商業會議所はペスト患者發生附近の家屋數十戸を買收して之を燒棄つるの非常手段に出でた▲加之滿鐵では病菌の傳播を防ぐが爲め、某々地點間の列車運轉を中止すべしと、ソレはソレは殆んど戰爭の樣な騷ぎだ▲幸ひなるかなペストはマダ鴨綠江を渡つては居らぬ、然し一朝渡つて來たならドウか、家屋燒棄、滊車運轉の中止、商業交通の絶止眼に見へた事だ、而かもソウなたら役所も銀行も商店も旅館も料理も其他一切も營業務の中止だ▲夫れで無くてさへ不景氣不景氣と叫んで居る今日、若もペスト難に侵されたら堪つたものではない、ダカラ各人ともペストを共同の敵と見做し、其筋と共力して敵の侵入及び發生を防ぐことに力を盡すべしだ▲故春畝公の未亡人梅子の方の病氣が少しは良いとの事梅子身を賤しきより起し、公の内助として間接に國家に貢獻した、皇室はくば彼女の餘生を安からしめ玉へ▲新築韓銀の營業所は内外と共に五には出來上るソウだが其重役室に重役逵が入るかドウカは疑問だ、總裁木村理事其他の褌が緩みかけ誰れか親切な人が注意してヤラヌ▲民會議員候補者中選擧演説をヤルアルソウだが至極贊成だ、宴會、請托祭の運動は止めて公々然と演説で爭ふが可からだ。

特別廣告

京城居留民會議員候補者

(イロハ順)

林田金次郎君
和田常市君
中村再造君
山口太兵衛君
松永達次郎君
増田三穂君
小林藤右工門君
秋吉富太郎君
城六太君
森勝次君
也

右推薦候

明治四十四年一月　日

中部同志會

黴毒新劑六〇六號に就て(一)

總督府醫院皮膚科長 荒川醫學士談

現今最も社會の注目を聚めつゝあるものは合併後の朝鮮統治と空中飛行機とエールリヒ、秦兩氏により發見せられたる黴毒新劑「サルバルサン」ならんか既に新聞紙上にて御承知の通り該新劑も當地に到着し其注射を開始されたる旨の廣告を散見するの際該新劑に關する總督府醫院皮膚科長の意見を叩き聽取し得たれば左に大要を掲げて讀者の參考に供せん

醫學の進歩發達は實に盛んなもので中にも黴毒に就ての研究は近年になりまして最も長足の進歩を致し昔は淋病も黴毒も其下疳も皆何れも同じ病氣として其頃では三病一毒說であつたのです然るに後西歴一八七九年ナイッセル氏が淋菌を發見し次にヂユクレイ氏が連鎖稈菌を見出し此れが下疳の病原菌であることを證明してより今迄三つの病氣は同一であると言はれしものが各々特異の病原体を有つて居ると云ふことが確實となり茲に初めて三病三毒說となりました然し當時に於て黴毒の病原は尙一種の寄生蟲であるだらうとの推量に過ぎなかつたのが西歴一九〇六年にシヤウヂン氏が

黴毒の病原虫

「スピロヘーテ、パリダー」を發見してより黴毒の研究上に大なる色彩を放ち之と共にワッセルマン氏は又免疫學上の立場より見て黴毒患者の血清中には「スピロヘーテ、パリダー」から出來る一種の物体の有ることを想し丁度膓窒扶斯の凝集反應の樣な反應により黴毒の有無を見出す一の

血清診斷法

を案出しシャウヂン氏の發見せし「スピロヘーテ、パリダー」と相俟つて非常なる賞贊を博し黴毒の診斷并に

治療上に一新紀元

を劃しました然し一方にはコッホ氏とエールリヒ氏がしきりに細菌學及微生物學或は免疫學の學理研究に熱中し免疫血清なるものを作り血清療法を唱へ出して以來世の中は總て此れに贊同し如何なる疾病にも血清療法が應用せられぬ事はあるまいと迄言はるゝ樣になりました

一九〇〇年になりエールリヒ氏は細菌の爲めに起る疾病なれば血清療法は有効であるが原生動物に因る疾病例之ばマラリヤトリパノゾーム病等には血清療法は効果が無いとし茲に初めて

化學的療法

なる一旗幟を翻し其後十年間日夜孜々として化學的療法を研究して人工的に色々の化合物を製造し其數は實に八百餘種にもなつたと云ふ事です其の盛んなることは驚かざるを得ない而して其多くある中の第六〇六號は螺旋菌屬に有毒である所から同種屬の「スピロヘーテ、パリダー」を病原とする黴毒にも應用する樣になつたのです

●朝鮮に日本語

西園寺侯を會頭とせるローマ字擴め會にては此度會頭以下林伯大隈伯渡邊千秋渡邊國武秋元興朝坂谷芳郎前島密加藤弘之菊池大麓神田乃武澁澤榮一穂積陳重山川健次郎南條文雄山口鋭之助上田萬年鎌田榮吉澤柳政太郎内田定槌森村市左衛門諸氏其他幹部員二百六十餘人の署名を以て左の書面を朝鮮總督府に差出したり

朝鮮人に日本語をよく敎へ込むことは唯今最も大切なことであります。これを敎へる道はいろ／＼ありませうが、まづ最もちかみちで、最もきゝめのある方法はローマ字で日本語を寫して、これを授けることであります。

朝鮮にもわが本土にも漢字があり之に依てこれを用ゐて相交れば至極たやすく意思も通じ、日本語もひろめられると思はれるかもしれませぬ、しかし漢字にはあちらの音訓もつき其上本土に用ゐて居る漢語と朝鮮で用ゐて居る漢語と全く意味の異るものが數限りもなく多くて、大に混雜を來します、便利の樣で却て甚だわるい結果を生じます、

朝鮮には諺文があり、わが本土には假名があります、共に性質は漢字にまさるものに相違ありませぬが、あちらで諺文の使用をひろげて、これで日本語を寫すやうになりますれば本土でも、またこれを新しく學ばねばならぬことになります、本土のためにも迷惑であります、又假名では文字の性質上すべての音をうつしきれませぬ。

強て假名を用ゐさせるとしますと、こゝに新しいことを敎へるのでありますが、おなじ新しいことを敎へるなら、世界に廣く用ゐられて、文字として最完全でどんな國言の葉をも寫し得らるゝローマ字を敎へる方が新附の國民に對する親切であると思ひます、まして、ローマ字は我國語をうつすものとして、この後かならず採用せねばならぬ最便利なものである以上たとへわれにはまだ一般に行はれてゐないにしても、これを彼に敎へることは後々を思ふもの〻進むでなすべきことゝ思ひます。

文字の中ではローマ字は數が最も少いものであります、よつてこれを覺へさせることは極めてやさしいことで、小學の兒童は勿論學校に居らぬ人にでも然るべき書物によつてすぐに覺ゐることが出來ます、特に朝鮮では從來子母音字を合はして言葉を綴て居りますから、一層やさしく行はれうることゝ信じます、又字を通じて學ぶ言葉は日本語のひろまる道理でありますから、日本語のひろまることはかならずしも大に力を用ゐなくても、この文字を用ゐるだけで既に半ば以上成功したものといふことが出來ます。要するに朝鮮人に日本語をひろく用ゐさせるには、文字をかるくやさしく便利にしてそれよりは日本語といふものに重きをおく方針でなければなりませぬ。漢字では日本語の普及を害することも益することはありませぬ。これを忽にしてはゆく／＼日本語のためにかなしむべきことが起ります。

右の理由によつて朝鮮に日本語を普及させるため、この際ローマ字を御採用になることを望みます。其方法としてはまづ左の如きことが急であると信じます。

一 ローマ字で日鮮對譯の辭書をつくること
一 ローマ字で日鮮對照會話辭書をつくること
一 ローマ字で書いた小學校敎科書をつくること

活動寫眞

覆面子

十八日朝の南大門驛

曉の空をこめたる霧は、やうやく薄らいで、眩ゆき朝日は南山の緑を照して春めく、停車場に入れば、光景何んとなく物々しく、正面に似ぬ賑はしさは浮きたつた人の顔に知られて、誰れを送らん花筐、紅唇玉齒、若き婦人は時ならぬ花と咲き亂す彼方には、世に時めき玉ふ官人も見へて、緩かにシガーの煙りは紫に棚曵く。

カウント兒玉令夫人澤子の君を具し玉ふ、澤子の君は悠揚として、恰かも磁石に吸ひ付けらるゝ如く寄り來る婦人や官人の叩頭に對し輕るやかに禮を返され、靜かに列車に入る。

鐵道局長官大屋權平氏は政府委員として議院に列すべく、長途の旅路に上る。

通信管理局長池田十三郎氏も亦國政に參すべく、皆多數の見送人に擁せられた、宣教師ロルテス氏は京都に入るべく同車に搭乘した、場内は暫し官人と婦人とを以て埋められて、他を顧みるの餘裕がない。

午前九時正確に釜山行列車は、多數の見送人を殘して、徐ろに麗かな朝日を浴びて發した。僕は竊かに、長亭短驛、諸士が長き旅程の夢穩かならん事を祈つた。

同九時十分、寂たる新義州行列車も去つた。構外幾十輛の人車は、花と見紛ふ婦人や、金線鮮かな官人を拉して去りにし停車場は、寂寞の背景に閉されて靜かだ。

●薄情な爲替掛

如何に籍を入れぬ韓妻なりとは云へ子供二人迄生した女を無教育だの母親の氣に入らぬからのと理窟を附けて逐ん出して他に美いのを探して居るとは薄情男と云はれても據なき人と云ふは某局の通信手にして爲替掛に岡田某(二八)にて若草町附近に住居せるが四五年前對州生れの島羽つる(二六)なる者を下女として雇ひ入れしが双方ともに獨身者は他に人目のない家の内の事なれば最初の程こそ遠慮もありたれ馴染に連れて晩酌後の串戲の如に云ひつ云はれつ眞實が事實となり何處の方から寄ひ寄つたか嬉しい交情と成つてもソレ先刻も申し上げた通りの獨身者なれば何方からも苦情の出る筈なく至極圓滿に家内は安全の内にれつるは旦那樣なる岡田の胤を宿したるより此度は串戲にあらずで愈々夫婦と云ふことに定つてれつるは名をオイと改名岡田旦那樣はアナタ、と改名されて睦しく昨年十月迄は其の間に出來た二人の子供の成長を樂みに暮し居たるが其の月の末頃岡田の實母渡鮮して以來と云ふもの始終〳〵家内に波風の絶間なくれつるは泣きの淚で日を送ると云ふ始末となりしも子供二人もある事なれば辛棒して居るのが姑の癪に觸りアンナ圖々しきものは岡田家の主婦には不適當なりとて離縁を申渡されたるよりれつるは泣く〳〵北部水門洞附近に住せる同郷人中富某方に厄介になり居るが離縁の際に渡す筈の手切金三百圓が今に至つても出來ざるより岡田はれつるを呼び出しかけ待合春日に於て卧を歸鄕せしむるから夫れ迄待つて居て吳れと甘言話で釣つて居る一方には何處かに美女ないかしらと盛んに運動して居る由可憐相なはれつなり

●意地汚の娼妓

御成町百二十三番戸居住菊池謙次(三八)は中新地笑月樓の帳場に雇れ居りしが娼妓鈴子事十川ぬい(二五)と深くなり鈴子の馴染客が登樓する毎に嫉妬燒き喧嘩許り爲し遂に樓主及仲居等に看破され解雇となりしに十七日の話にて鈴子に何か話さんと呼びたるに入院して不在なりと仲居井の節きよ(四〇)が返話したるも不審に思ひ午後十一時頃笑月に登樓せしに鈴子は入院とは虛僞にて客と同衾中なりしかば亂暴を初め警官出張一應鎭撫せしが菊池は再び翌午前二時半頃出刃を携帶鈴子を殺害して自殺せんと亂入仲居きよを撲り鈴子の寢室に亂入せんとしたるを警官の制止と同時に刃物を押收され南部署に引致目下司法主任の手にて取調中なりと

紘吟會開催

來る廿二日(第四日曜日)新年宴會を兼ね第二回紘吟會開催可仕候條本紙愛讀者及び投書家諸君萬障御繰合せ御賛同御參會被成下度候

課題 元結 雪 猪 (情歌)
日時 廿二日正午より
場所 南山町一丁目初音
會費 貳圓(當日御持參の事)
(追而御出席の御方は前日正午迄本社へ御通知を乞ふ)

正月 幹事

●電車の衝突

南部治洞二十三統十二戸趙某奎(六二)は酩酊して十七日午後六時三十分頃古市町神吉病院地先に於て龍山行電車六十號に衝突して頭部を負傷せしより神吉病院にて應急手當を施し一方會社よりは治療費を負擔して相當手當を給したりと

●猫島新地の擴張

仁川猫島新地繁榮策として同地を遊廓地に指定する許可の請願書を昨年五月其の筋に提出し置きしに昨冬十二月十一日其の筋より現境界分に許可ありたるが今其の場所を聞くに現今料理店前の地より後方に至る約三十坪以上の地を指是地となす由にて遠からず許可の運に至る可しと

●善良無比の種苗種子

東京瀧の川村各國農產種苗問屋桝屋本店にては最も正確なる春蒔種子種苗及西洋蔬菜等種々輸著せしにより今季は特に大廉價にて精撰確實なる品を各農家へ分與する由なるが同店發行の春季種苗案內は申込者へ無代にて郵呈すと云ふ

●演藝だより

●壽座 十九日の替狂言は前狂言朝顔大序より大詰迄切狂言奥州安達ヶ原三段目なり

●歌舞伎座 島之助一座は大入木戸締切の盛況にて打揚げ十九日より革新劇第二回乘込み花々敷開演同夜の藝題は前狂言決鬪切狂言人の親尙三十錢均一なり

●仁川歌舞伎座 京城歌舞伎座にて好評を博したる片岡島之助一座は一昨日午後八時着の列車にて花々敷仁川歌舞伎座に乘込み昨夜初日を開演せしが非常なる人氣にて大入を占めたり

今日の運勢

一月十九日舊十二月十九日 ●八白赤口 己丑 建

△一白●新事旅行婚談見合せの事保證裏書懇願其他情義に驅られて後累あり△二黒●訴訟談判交渉中介中裁見合せの事其他進んで吉△三碧●不如意の事多し貸借賣買見込違若くは破綻あり酒色の害を戒しむ新事見合すべし△四緑●金品授受證券の故障起らんとす不和紛爭防ぐべし△五黄●婚談共同組合協約協定に吉部下雇人の事注意すべし△六白●快欣の日大抵吉轉業改革整理模樣替轉住遂行に尤も好し△七赤●業務上利得便益ある日なり色情痴情の破れを戒しむ△八白●保證裏書受印を禁ず變更及創始の事に忌む遺失防ぐべし△九紫●談合協定締約修好婚談示談中裁中介に吉衛生負傷注意すべし

●天氣豫報

(自十八日午後六時至十九日午後六時)(本町五丁目三一館判斷)

北西の風晴れ

廣告

京城居留民團告示第六號

左記ノ者京城居留民會議員選擧人名簿ニ登錄ヲ取消ス

明治四十四年一月七日

京城居留民團民長 古城菅堂

左記

小澤良

京城居留民團告示第五號

左記ノ者京城居留民會議員選擧人名簿ニ登錄ス

明治四十四年一月十七日

京城居留民團民長 古城菅堂

左記

本町五丁目 中村政次郎 元治元年十一月廿九日生
櫻井町一丁目 柏木茂 明治十五年一月生

以上

●諸公債諸株券現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業　既製洋服雜貨小賣　官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九三九
電話（夕）

今般小生儀朝鮮孤兒院長の勸めにより京城日鮮音樂團を組織致し候に付大勉強を以て各位の御用相勤め可申候間何卒御引立の程偏に奉希上候

京城本町七丁目（深堀製綿所內）

京城日鮮音樂團

主任　深堀久雄

取次電話一八三五番

瓦斯コークス販賣

京城黃金町高等演藝館隣

酒井組

電話一一四九番

質

京城太平町二丁目三番元黑澤邸跡確實の擔保低利貸金融通す並古物賣買

宮永金藏

京城支店

質

京城旭町一丁目度支部官舍向側橫路突當

鹽見質店

旭町二丁目自府廳裏路出突當

◎貸金

旭町二ノ一五別府組車帳場前向小路　高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

恩給年金

利長期立替者へ便

諸公債債劵現物賣買

擔保

確實取引月一步五厘

京城中部壽進坊相思洞廿九統七戶下宿業博多屋方

上州屋支店

電話九百五番

蒸溜消毒牛乳

京城靑葉町五十番戶の一

廣養舍

細川牧場

（電話一三六六番）

エールリヒ秦氏

新梅毒注射藥

右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候（入院隨意）

一月十一日

京城南山町二丁目

松岡醫院

電話六七五番



京城明治町

大塚京城支店

（電話四百一番）

廣告

一佛國レロイ社製壁紙各種

一英國ランカスター無地リノリユーム

一ボンメル蝶番各種

右多數貯藏致居候間御注文願上候

京城エルロンドン商會

明治四十四年一月

吉岡信太郎

電話九九五番

牡丹麥酒株式會社株式募集廣告

一募集株五千株

總株四万株の內三萬五千株は確定引受

但し申込株數が募集株數を超過したる場合は按分比例に依り募入す

一申込證據金　一株に付き金二圓五十錢

一申込期限　一月十四日より同二十日まで

一資本金　總額二百萬圓、總株數四萬株、一株の金額五十圓
第一回拂込金十二圓五十錢（但し證據金を併算す）

一營業の目的　麥酒釀造販賣及之に附隨する業務

但し本社は釀造場を福岡縣門司附近に設くるものにして地の利販賣の便等優越なる特長を有す

發起人

東京　廣澤金次郎
東京　園田實德
東京　矢吹重燿
東京　山下敬太郎
大阪　三武久
大阪　高橋安次郎
大阪　中村秀五郎
大阪　中野壽吉
大阪　梅原龜七
贊成者

大阪　中村準策
大阪　阿部朝田
大阪　廣中八三郎
大阪　大﨑幸四郎
神戶　藤井忠兵衞
兵庫縣　南惣一郎
兵庫縣　家入安
下ノ關　松尾資三
下ノ關　內田吉三郎
大家七平、高倉藤平、

下ノ關　藤谷禎造
下ノ關　瀨福太郎
下ノ關　森田治郎
門司　山田彌八郎
門司　岸耕三郎
門司　中村豐弘
門司　中石剛光
小倉　平田豐廣
佐世保　森永泰兵衞
宮崎敬介、長馬半右衞門外數十名

山口縣　藤本治助
釜山　大池忠助
釜山　迫間房太郎
釜山　五島甚吉
釜山　阪田文吉
釜山　永松敬一
釜山　國松磊奇智

牡丹麥酒株式會社創立委員長

伯爵廣澤金次郎

取扱銀行

●北濱銀行大阪本店　同東京支店　同名古屋支店　同京都支店　同神戶支店
●百三十銀行大阪本店　同小倉支店　同若松支店　同博多支店　同京城支店
●山口銀行大阪本店　同東京支店
●仁川支店　●日本商業銀行兵庫本店　同門司支店　同長崎支店
●第三銀行大阪本店　●熊本肥後銀行　●十八銀行釜山支店
●福岡十七銀行　●周防銀行廣島支店　同釜山支店　●佐世保銀行
●商業銀行釜山支店　●第一銀行　●馬關銀行　同釜山支店

●申込用紙並に定款は取扱銀行及創立事務所に備付有之候

創立事務所　大阪市北區堂島中町一丁目二十九番地（電話東一、一七四番）

出張所　門司市東本町一丁目三一〇二番地（電話三三七番）

移轉廣告

一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店御小賣に係らず勉強營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候

京城南大門內南米倉町

カ　辻本嘉三郎商店

電話六四一番　振替口座京城三八番
本宅旭町二丁目　電話一四七八番

丁　池尻林太郎商店

電話三五一番　振替口座八六番

仲買人　一同

本品は貧血症、肺病及之れに類似の消耗性疾患、神經衰弱症、病後恢復期等に卓効を奏し、下痢に對して特效を有す

大瓶二圓　四十八錢　小瓶一圓　送料委細は說明書の無代贈呈す

ボビナイン
飮むだけ血になる
ボビナイン

橫濱小港町　合資會社友田商店　振替口座東京一九三八番

朝鮮代理店　京城本町郵便局前

山岸天佑堂

振替口座朝鮮二〇三番　電話三七二番



代理店

京城　新井藥房

電話九〇四番、一〇六八番
振替口座京城十六番

諸官衙御用品

無雙安心火止石油販賣

石油各種鑛油各種　卸部

炭、薪、酒、醬油

日用食料品一式　小賣部

京城南山町一丁目百十四番戶

奈良屋商會

電話六八八番

義齒術一般

京城明治町一丁目（森、村質店隣）

榊忠司

取次電話六六九番

和洋大物各種

新案丸たびとた

堅牢で廉價な帶の織

京城本町一丁目　丸　乘原商店

電話四八三番

丸　出張店

京城本町五丁目鈴木蕃店入口

入院隨意

內外科
小兒病
梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院

電話（二二六）

院長　陸軍軍醫正　高井貞治

くだり病一切の特効藥

健胃固腸丸

主治

●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効迅速なり

●常に府へ置き朝夕五粒づ丶服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を能くす

藥價　貳十粒入五錢　四十五粒入拾錢　百粒入貳十錢　三百粒入五十錢　七百粒入壹圓

本劑ハ全國到る所の賣藥店ヌ取次販賣せり

大阪市東區伏見町堺筋角

本舖　谷回春堂

（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）

代理店

京城南大門通三丁目

新井藥房

電話九百四番　振替口座京城十六番



代理店

京城本町三丁目　森久商店

京城南大門通三丁目　新井藥房

大韓醫院
陸軍衛戍病院

特定御用

一年間の滋養供給は寒中に在り

滋養の効果は寒中に最も大なり

寒中滋養を欠けば病に罹れ易し

世は命あつての物種

牛乳なる哉而も寒乳なる哉



荒井牧場

京城龍山　電話千五十六　電話廿二地番

純良消毒牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話千六十九番

眼科

日曜及祭日は午後二時迄

京城本町二丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

（電話三十三番）

前漢城病院眼科部長　醫學得業士　江頭富雄

キ

一月中出帆廣告

海州行

安來丸　十九日、廿三日、廿七日、卅一日

天草丸　廿一日、廿五日、廿九日

屯串行

三省丸　十八日、廿二日、卅日

成歡丸　廿四日、廿八日

千葉丸　十六日

蔚島行

千葉丸

成歡丸　廿一日、二月一日

三省丸　廿六日

九味浦行

海利丸　廿一日、廿九日

仁川本町四丁目

秋田商會船舶部